

## 全校朝会 「世界にひとつだけの花／カッコソウ」 5月10日(金)

5月3日の桐生タイムスに『カッコソウ令和に開花』という記事が1面トップで掲載されました。リード文には、『地球上で鳴神山系にしか自生しない花、カッコソウが、氷河期を生き抜いて令和の新時代にも山中で開花した。大型連休に入って大勢の登山客が「咲いてる」「きれいね」と歓声を上げて、濃いピンク色の花に見入っている。』と書かれています。

カッコソウの咲く鳴神山は、桐生市にある標高980mの山で、川内や梅田にある登山口から1時間ちょっとで山頂まで登れます。新日本花の百名山にも選ばれていて、カッコソウだけでなくナルカミスミシなどの希少植物をはじめとする様々な花が早春から秋にかけて次々に咲くので、登山者に人気の山となっています。



皆さんは、カッコソウという花を知っていますか。カッコソウは、サクラソウ科の多年草で、春になると、毛むくじゃらの茎を伸ばしてピンク色の花を咲かせます。タイムスの記事にもあった通り、世界中で桐生市の鳴神山にしか自生していない花、世界にひとつだけの花です。このカッコソウは、昔は鳴神山の斜面がピンク色に染まるくらいたくさん咲いていたそうですが、今は数がとても少なくなってしまい、絶滅危惧種として保護されています。桐生市の環境課が中心となってカッコソウ協議会を開催したり、「鳴神の自然を守る会」などいくつかのボランティア団体が見守り活動などをおこなったりして、みんなでカッコソウを守っています。4年生になると、「世界で鳴神山にだけ咲く花カッコソウがあぶない!!」というタイトルの下敷きが配られます。その下敷きにもカッコソウを守るためにできることがわかりやすく書かれていますので、もっている人は、もう一度見直してみてください。

2年生が6月に校外学習で行く「桐生自然観察の森」には園内にカッコソウが植えられていて、カッコソウについて詳しく学習することができます。カッコソウをこれ以上減らさないために桐生市や地域の人たちがどんな取組をしているかを学び、世界にひとつだけの花が咲く桐生の自然の素晴らしさを知ってほしいと思います。

他の学年の人も、これから校外学習や宿泊学習、修学旅行などに出かけていきます。町探検では、伝統ある織物産業を学んだり、のこぎり屋根が代表する重伝建地区の歴史的建造物を見学したりすることができます。また、市外や県外に出かける学年は、現地の自然や産業、歴史などに触れ、桐生と比べることができるでしょう。皆さんには、体験的な学習を通して、桐生のよさを考え、桐生のことをいっそう好きになり、そして、ふるさと桐生を大切に作る心をもってほしいと思います。



### 入賞おめでとうございます

\*全校朝会で伝達表彰をしました。

#### 桐生市陸上競技記録会

4年男子1000m	K・M(4年1組)	4分02秒97	2位
4年男子100m	N・Y(4年1組)	17秒43	5位
4年女子100m	S・R(4年1組)	17秒82	3位
5年女子100m	N・A(5年1組)	16秒92	6位
6年女子100m	H・S(6年1組)	17秒26	4位

\* 全校朝会で取り上げる表彰は、学校から応募するコンクールや学校代表で参加する大会、および教育委員会や行政など公的機関が主催・共催・後援しているものを対象にしています。